

インドネシア中カリマンタン州パランカラヤ市副市長一行が愛媛を訪れました【平成28年4月19日（火）～4月22日（金）】

平成28年4月19日（火）～22日（金）、インドネシア共和国中部カリマンタン州パランカラヤ市からモフィット・サプトノ副市長ほか13人が、県内企業から消防車等の緊急車両の贈呈を受ける目的で来県し、県内企業や関係自治体・団体を訪問しました。

ご一行は、20日（水）に愛媛トヨタ自動車（株）テクノオペレーションセンターを訪れ、緊急車両等を視察後、愛媛県庁で上甲俊史副知事を表敬訪問し、続いて松山市役所で梅岡伸一郎副市長を表敬訪問しました。翌21日（木）には、今治市を訪れ、タオル美術館と今治消防署を視察しました。その後、愛媛大学で、インドネシア人留学生・日本人学生や関係者との交流会に参加しました。

21日夕方、本協会の主催で開催した歓迎夕食会でモフィット副市長は、今回の訪問で愛媛の人たちから受けた温かいおもてなしに対する謝意を述べ、熱帯雨林の広がる自然豊かなパランカラヤ市をぜひ訪れてほしいと挨拶しました。歓迎会には、協会会員の企業関係者やインドネシア人留学生総計約40名が参加し、盛会となりました。

パランカラヤ市を含むカリマンタン島では近年大規模な森林火災が発生しており、森林破壊や煙害が住民の社会生活に支障をきたすほどの社会問題となっています。一方で、森林での消火活動の困難さや消防設備の不足により、パランカラヤ市消防署が鎮火できる森林火災は数パーセントにとどまっているとのこと。そのため、今回贈呈された緊急車両が乾期の始まるまでに現地に到着し、同市での消防活動に役立てられることが期待されます。



▲緊急車両視察の様子



▲歓迎会で挨拶するモフィット副市長



▲歓迎夕食会での集合写真

在マカッサル領事事務所の谷昌紀所長による「東部インドネシアセミナー」を開催しました。【平成28年5月30日（月）】

平成28年5月30日（月）、校友会館サロンで、インドネシアの在マカッサル領事事務所の谷昌紀所長をお招きし、愛媛・インドネシア友好協会主催による東部インドネシアへの企業進出セミナーを開催しました。セミナーには、県内企業関係者や、マカッサル出身の留学生、インドネシアに留学経験のある日本人学生、学内関係者ら約30人が参加しました。

谷所長は、東部インドネシアが豊富な天然資源に恵まれており、経済成長著しいインドネシアのなかでも今後大きな成長が見込まれる地域として、日本企業にとって魅力的な進出先・投資先であると講演しました。また、近年、現地で日本に対する関心が益々高まっており、インドネシア人観光客の誘致先として四国が検討されているとの説明がありました。参加者から、現地のインフラ及び法整備、資金調達の状況等について質問があまりました。また、インドネシア人留学生から、帰国後に現地で日本人とビジネスを行う場合についての質問があり、谷所長からアドバイスがありました。

セミナー後には、谷所長を囲んだ昼食会を開き、引き続き活発な意見交換が行われました。



▲セミナーで講演する谷所長



▲昼食会の様子



▲集合写真

インドネシア文化祭を開催しました【平成 28 年 8 月 20 日（土）】

平成 28 年 8 月 20 日（土）、在日インドネシア留学生協会（略称 P P I）愛媛支部が主催、在本邦インドネシア共和国大使館が共催する「インドネシア文化祭 2016」が南加記念ホール前広場にて開催され、学内外からの多くの来場者にインドネシアの文化を紹介しました。

華やかなインドネシア伝統舞踊の披露で始まった開会式では、P P I 愛媛支部代表のアジ・エリ・ブルハンデニーさん（理工学研究科博士課程）、在大阪インドネシア共和国総領事館のソネタ情報担当官、愛媛大学の大上博基学長特別補佐に続き、在本邦インドネシア共和国大使館のベン副大使が挨拶を行いました。

今年のテーマは「食と文化」。料理ブースのテーブルに並べられた色鮮やかな料理の前には長蛇の列ができていました。実行委員長のマルリサ・アユ・トゥリシアさん（連合農学研究科博士課程）は、「ナシゴレン以外にもインドネシアには紹介したい料理がたくさんあります。今日はみなさんに色々な新しい味にチャレンジしてもらえて嬉しいです。」と述べました。

さらに、大人から子どもまで楽しめるインドネシアの伝統的なゲームの数々が紹介され、子どもたちが参加したせんべい喰い競走、互いの頭にボールを挟んで踊るボールダンスが始まると、ひととき大きな声援が会場全体に沸き起こっていました。

※本文化祭の記事が愛媛新聞（8/29 日刊）に掲載されました。



▲インドネシア伝統舞踊



▲多数の来客で賑わう料理ブース



▲伝統ゲームのボールダンス



▲集合写真

インドネシア語講座 2016 を開催しました

本協会では、会員様向けにインドネシア語講座 2016 を開催し、全 8 回の講義を終了しました。本年度は、本協会の会員様に加え、インドネシア人留学生と交流のある愛媛大学教職員および学生から多数の参加申込みがありました（参加総数 26 名）。講義では、インドネシア語で簡単な自己紹介や会話ができるよう、定型文やあいさつの基本フレーズを学習したあと、インドネシア人留学生らが準備したインドネシア料理を囲んで、交流の場も設けられました。参加者の皆様、お仕事後の参加は大変だったと思いますが、ご受講くださり、どうもありがとうございました。



▲授業風景



▲エルニ・ジョハン先生

【入門～初級クラス】

対象レベル：はじめてインドネシア語を学習する方を主対象に、観光やビジネスでのさまざまなシーンを想定して、インドネシア語で簡単なコミュニケーションが図れるレベルを目指します。

日 程： 1 回：10/19（水）、2 回：10/26（水）、3 回：11/2（水）、4 回：11/9（水）、
5 回：11/16（水）、6 回：11/30（水）、7 回：12/7（水）、8 回：12/14（水）

【全 8 回】

時 間： 毎回 18：00－19：00

費 用： 3,000 円（全 8 回分、テキスト代込）

※テキストをお持ちの方は、1,500 円

場 所： 愛媛大学 城北キャンパス 愛大ミュージズ 2 階
国際連携推進機構・学習支援室 1

講 師： エルニ・ジョハン
（愛媛大学理工学研究科研究員）

テキスト： カラー版 インドネシア語が面白いほど身につく本 CD 付（角川出版）

インドネシア共和国ゴロンタロ州御一行が愛媛を訪れました【平成 28 年 11 月 16 日（水）～19 日（土）】

平成 28 年 11 月 16 日（水）～19 日（土）、インドネシア共和国ゴロンタロ州から、シャムス・カマル・バドゥ氏（ゴロンタロ大学長）、マルテン・タハ氏（ゴロンタロ市長）、ハミム・ポウ氏（ボネボランゴ県知事）をはじめ 12 人が来県し、愛媛大学にて、ゴロンタロ州・ゴロンタロ大学・愛媛大学の 3 者間学術協定を締結したほか、本協会会員の井関農機株式会社、愛媛トヨタ自動車株式会社、ヤマキ株式会社（以上敬称略）および愛媛県庁を訪問しました。

17 日夕方には、本協会の主催で夕食歓迎会を開催しました。インドネシア人留学生の披露したアップテンポなダンスには会場からの参加も加わり歓声が沸き起こったほか、岳人山氏の伸びやかで優美な尺八の音色に会場一体が酔いしれる一幕もありました。歓迎会には協会会員の企業関係者やインドネシア人留学生も多数参加し、ゴロンタロからのお客様 12 人を囲んで、終始和やかな夕食会となりました。



▲夕食歓迎会にて

インドネシア政府・自治体関係者御一行をお迎えし、夕食会を開催しました【平成29年3月9日（木）】

平成29年3月9日(木)、南スラウェシ州、ゴロンタロ州、西スラウェシ州、ジャンビ州、南東スラウェシ州、西ジャワ州、東ヌサ・テンガラ州、北スマトラ州、西スマトラ州の15県の県知事または副知事からなる代表団、インドネシア内務省および保健省、地方自治体協会からなる代表団、総勢55名が、県内企業から消防車等の緊急車両の贈呈を受ける目的で来県しました。

ご一行は、愛媛県庁で上甲俊史副知事を表敬訪問した後、愛媛トヨタ自動車(株)本社での贈呈式に出席しました。その後、愛媛大学城北キャンパスにて、愛媛・インドネシア友好協会が主催する歓迎夕食会に参加しました。

バンタエン県のヌルディン県知事は、今回の訪問で愛媛の人たちから受けた温かいおもてなしに対する謝意を述べ、「8年前にはじめてバンタエン県に救急車と消防車が寄贈されて以降、インドネシア国内では日本からの支援に関心が高まっている」と述べました。歓迎夕食会には、上甲副知事をはじめ、本協会会員の企業関係者やインドネシア人留学生など多数が参加し、ご一行を含め、総勢120名が食事を楽しみながら、交流を深めました。



▲ヌルディン県知事の挨拶



▲賑わう夕食会会場



▲集合写真